

愛知県立芸術大学

入学者選抜に 関する要項

平成

30

年度入学用

●美術学部のアドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、地域から世界への発信を目指し、活発な芸術活動で質の高い研究、教育、社会貢献を展開しています。美術学部では芸術家、デザイナー、研究者など美術全般で専門性の高い人材を育成、供給するため、専攻が独自のアドミッションポリシーを制定しています。

◆日本画専攻

求める人物像

- ・観察によって発見したよこびを表現することに、強い意欲をもっている人
- ・自分の可能性を信じ、目標に向かって粘り強く取り組める人
- ・時代やジャンルを問わず、幅広い芸術表現に興味がある人
- ・新たな発想と表現力を身につけ、社会で活かしたいと思っている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・観察力と描写力（デッサン、着彩）

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生の能力を適切に評価できるよう、大学入試センター試験による学力と、石膏デッサンと着彩による二種類の実技試験を行います。

【一般入学試験】

- ・一次試験では、石膏デッサンの実技試験の得点と、学科（大学入試センター試験）の合算により合否を判定します。
- ・二次試験では、着彩による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。
モチーフは年度によって変更します。大学入試センター試験や一次試験の得点は加算されません。

◆油画専攻

求める人物像

- ・美術・絵画に強い関心と探究心をもっている人
- ・美術・絵画に関する基礎的表現力があり、大学においてさらに表現力を深めようと志す人
- ・芸術家として自己実現を目指す人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力（デッサン）
- ・絵画表現力（油画・水彩画）
- ・豊かな創造力と絵画表現を試みる力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるよう試験問題、試験時間、製作作品のサイズなどを工夫した入学試験を実施します。

【一般入学試験】

- ・一次試験では、素描の実技試験の得点と、学科（大学入試センター試験）の合算により合否を判定します。
- ・二次試験では、油画または水彩画による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。モチーフは年度によって変更します。大学入試センター試験や一次試験の得点は加算されません。

◆彫刻専攻

求める人物像

- ・自己管理能力と協調性をあわせ持つ人
- ・不得意とする事柄に対してまっすぐ立ち向かう強い意志と、忍耐力、持久力、体力のある人
- ・先入観に拠らず、自身の考えに対して絶えず異なった観点からの問いを発し、自身の創作によってその答えを模索しようとする人
- ・上記のことを含めた意味で、“美術”が好きな人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力・造形力
- ・豊かな想像力

入学試験の基本的な方針・考え方

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、基礎的な想像力・技術力を判定する試験と、大学における勉学に対する意欲をはかる面接を行います。

【一般入学試験】

- ・一次試験では、石膏素描の実技試験の得点と、学科（大学入試センター試験）の合算により合否を判定します。
- ・二次試験では、塑造の実技試験と面接の得点によって、最終合格判定を行います。モチーフは年度によって変更します。大学入試センター試験や一次試験の得点は加算されません。

【自己推薦特別入試】

- ・自己アピール資料審査と小論文、面接試験により合否を判定します。

◆芸術学専攻

求める人物像

- ・美術作品の鑑賞や研究、展覧会の企画などに強い関心のある人
- ・美術史、現代アート論、美学、文化財学等に関心の高い人
- ・柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・歴史に関する基礎的な知識
- ・英語に関する基礎的な語学力
- ・基礎的な論述能力
- ・美術作品についての基礎的な観察力、鑑賞眼

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生の学力や感性、適性や意欲が十分に評価できるような入学試験を実施します。

【一般入学試験】

- ・一次試験では、大学入試センター試験による学力試験の結果に加え、英語、地理歴史（日本史B、世界史Bのうち1科目選択）の試験を行い、合否を判定します。
- ・二次試験では、一次試験の結果に加え、小論文、素描、面接の試験を行い、最終合格判定を行います。

◆デザイン専攻

求める人物像

- ・日々の暮らしの様々なことに興味と好奇心がある人
- ・モノ作りや表現に強い関心があり、工夫が好きな人
- ・問題を発見し、解決する思考力と行動力がある人
- ・様々なものを受け入れる柔軟性がある人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩と立体の構成力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、受験生の特性を活かした様々な入試を実施します。また受験しやすい環境を整え、受験生の将来への可能性を高めます。

【一般入試】

- ・大学入試センター試験による学力試験および描写、色彩構成、立体構成の実技試験の合算により合否を判定します。

【自己推薦特別入試】

- ・ファイル審査（活動や作品解説を含む自己アピール）と面接試験により、合否を判定します。※実技試験、学力試験は行いません。

【社会人特別入試】

- ・ファイル審査（活動や作品解説を含む自己アピール）と面接試験、小論文により、合否を判定します。※実技試験、学力試験は行いません。

◆陶磁専攻

求める人物像

- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探求し、創作意欲のある人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力

- ・基礎的な色彩による平面構合力
- ・基礎的な立体造形力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力と表現力を問う入学試験を実施します。

【一般入試】

- ・大学入試センター試験による学力試験および描写、平面構成、立体構成の実技試験の合算により可否を判定します。

●美術学部のカリキュラム・ポリシー

現代において美術は多様な思想や表現を包括しています。美術学部ではマンツーマンの個人指導を基本に、それぞれの領域の現状を踏まえ専攻ごとの特殊性を尊重したカリキュラムを制定しています。

実技系の授業等とあわせ、美術理論、語学、一般教養等、自由に選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

●美術学部のディプロマ・ポリシー

所定の期間在学し、所属専攻において定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけ、最終年次の「卒業制作、卒業論文」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

●音楽学部のアドミッション・ポリシー

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

◆作曲専攻(作曲)

求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽曲分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）
- ・西洋音楽史的な素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（英語）

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。
- ・専門実技試験では、作曲家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の作品を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

【推薦入学試験】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

◆作曲専攻（音楽学）

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心をもっている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性をもっている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力
- ・論理的思考力および表現力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・論理的思考力および表現力をみる論述・口述試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。

【推薦入学試験】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、楽器演奏、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

◆声楽専攻

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力・・・学ぶ上で大切にしたいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力・・・基礎的な読譜力と、ピアノの演奏能力を身につけてきて下さい。また音楽についての知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力・・・歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。
- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。個々の受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

【推薦入学試験】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験の結果を総合して合否を判定します。

◆器楽専攻（ピアノ）

求める人物像

- ・視野を広く持ち、実力を伸ばすために精進できる人
- ・音楽への興味を持ち、ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 基礎的な演奏表現能力（音楽に対する感受性、表現力、演奏技術、暗譜力、読譜力）
日々の練習の際に心がけてほしい点（参考例）
 - ・音に対する感性を大切にしたい勉強
 - ・感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・音階、アルペジオをはじめとする継続的な基礎技術の学習
 - ・できる限り多くの作品を勉強すること
 - ・様々なジャンルのクラシック音楽に親しむこと
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュと楽典の基礎）
- 基礎的な学力・・・外国語や一般教科の学習にもできる限り力を入れて下さい。

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、楽典）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。
- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

◆器楽専攻（弦楽器）

求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を食欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力
 - ・音に対する感性を大切にしたい勉強
 - ・感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・音階・練習曲等、基礎技術の学習
 - ・様々な時代様式の作品の勉強
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。
- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

【推薦入学試験】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

◆器楽専攻（管打楽器）

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に親しみ、知識を広げておくこと
- ・高いレベルの演奏表現能力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般入学試験】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入試センター試験（外国語、他）の結果を総合して合否を判定します。
- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

【推薦入学試験】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録音による演奏審査の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、口述試験の結果を総合して合否を判定します。

●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

学生の個性を最大限に伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。1、2年次では特に基礎教育を重視し、3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うための様々な実践的授業が用意されています。

実技系の授業等とあわせ、音楽理論、語学、一般教養等、自由に選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

●音楽学部のディプロマ・ポリシー

音楽学部では国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな人材の育成を目標としています。

卒業までに、確固とした個性と豊かな感性を養い、音楽における高度な専門実技能力と深い知識、そして幅広い教養を身につけることが求められます。

所定の期間在学し、最終年次の「卒業作品」、「卒業論文」又は「卒業演奏」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

平成 30 年度 愛知県立芸術大学入学者選抜に関する要項

1 学部、学科、専攻及び募集人員

学部	学科	専攻 (コース)	定員	募集人員				
				一般入試	自己推薦 特別入試	社会人 特別入試	推薦入試	
美術学部	美術科	日本画	10名	10名				
		油画	25名	25名				
		彫刻	10名	10名	(若干名)			
		芸術学	5名	5名				
	デザイン・工芸科	デザイン	35名	25名	10名	(若干名)		
		陶磁	10名	10名				
計			95名	95名				
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	8名	8名	(若干名)		
			音楽学	2名	2名			
		声乐	声乐	30名	30名			(若干名)
			ピアノ	25名	25名			
		楽器	弦楽器	15名	15名			(若干名)
			管打楽器	20名	20名			(若干名)
	計			100名	100名			
	合計			195名	195名			

※ 美術学部の自己推薦特別入試彫刻専攻募集人員(若干名)、社会人特別入試募集人員(若干名)、音楽学部の自己推薦特別入試募集人員(若干名)及び推薦入試募集人員(若干名)は、一般入試の募集人員に含まれます。

2 一般入試

(1) 出願資格

本学に出願できる者は、平成 30 年度大学入試センター試験において本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 30 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成 30 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注) 出願資格⑧により出願しようとする者は、平成 29 年 8 月 25 日(金)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

なお、私費外国人留学生は、大学入試センター試験を受験する必要はありませんが、独立行政法人 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を次のとおり受験してください。

「日本留学試験」① 美術学部については、「日本語」と「総合科目」を、音楽学部については、「日本語」と「総合科目」を受験するか、「日本語」と「数学(コース 1 又はコース 2)」を受験してください。

- ② 「総合科目」、「数学（コース1又はコース2）」については、日本語での出題を受験してください。
- ③ 平成29年6月実施・11月実施のいずれの試験を受験してもかまいません。
- ④ 渡日前入学許可は行いません。（外国において本学の入学選抜は行いません。）

〔参考〕 独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

〒153 - 8503 東京都目黒区駒場 4 - 5 - 29 電話 (03) 6407 - 7457 (直通)

(2) 入学選抜方法等

入学選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査（専攻別実技試験等）及び調査書により総合的に判定します。選抜方法等については、別紙1、別紙2のとおりです。

なお、本学においては、「大学入試センター試験の前年度成績」は利用しません。

(3) 大学入試センター試験の受験を要する教科等

別紙3、別紙4のとおりです。

(4) 個別学力検査の実施教科、科目等

別紙3、別紙4のとおりです。

(5) 個別学力検査実施期日

別紙5のとおりです。

(6) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

※【予告】平成31年度入試より、美術学部彫刻専攻の入試日程、試験科目、点数配分が変更となります。

詳細は平成30年度一般入試募集要項および本学WEBサイトでご確認ください。

3 美術学部自己推薦特別入試

美術学部美術科彫刻専攻及びデザイン・工芸科デザイン専攻において実施します。彫刻専攻においては、平成30年3月31日現在において18歳以上の者、デザイン専攻においては平成30年3月31日現在において、18歳以上かつ22歳以下の者を対象とします。大学入試センター試験を免除し、調査書、自己推薦書及び自己アピール資料等による第1次選考後、面接及び小論文（小論文は彫刻専攻のみ）による第2次選考を行います。

出願資格詳細及び実施細目については、別紙6を参照してください。

出願期間：平成29年10月25日（水）～平成29年11月1日（水）最終日午後5時必着
 選抜期日：平成29年11月25日（土）～平成29年11月26日（日）第1次選考合格者のみ

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

4 社会人特別入試

美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻において、平成30年3月31日現在において、社会人の経験を3年以上有する23歳以上の者を対象に実施し、大学入試センター試験を免除し、自己推薦資料等の内容、小論文及び面接等により総合的に判定、選抜します。

実施細目については、別紙7を参照してください。

出願期間：平成29年10月25日（水）～平成29年11月1日（水）最終日午後5時必着
 選抜期日：平成29年11月25日（土）第1次選考合格者のみ

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

5 推薦入試

音楽学部音楽科作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コースにおいて、平成30年3月卒業等見込みの者で出身学校長が推薦したものを対象に実施します。大学入試センター試験を免除し、調査書、音楽活動記録書等による第1次選考後、実技試験及び音楽に関する基礎的能力試験等による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙8を参照してください。

出願期間：平成29年10月25日（水）～平成29年11月1日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成29年11月25日（土）～平成29年11月26日（日）第1次選考合格者のみ
--

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

6 音楽学部自己推薦特別入試

音楽学部音楽科作曲専攻作曲コースにおいて、平成30年3月31日現在において35歳以下の者を対象に実施します。大学入試センター試験を免除し、調査書、音楽活動記録書等の提出書類と提出作品による第1次選考後、実技試験及び口述試験による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙9を参照してください。

出願期間：平成29年10月25日（水）～平成29年11月1日（水）最終日午後5時必着 選抜期日：平成29年11月25日（土）第1次選考合格者のみ

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項に明記するので障がい等を有する者等は、早めに募集要項を取り寄せ、あらかじめ申し出てください。

7 各募集要項請求方法等

美術学部自己推薦特別入試、社会人特別入試、音楽学部推薦入試・自己推薦特別入試の募集要項は7月下旬、一般入試の募集要項は10月上旬配布予定です。

(1) 大学のホームページから請求する場合

詳しくは、愛知県立芸術大学ホームページをご覧ください。（<http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>）

(2) インターネット（携帯電話・パソコン）で請求する場合

①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネット（携帯電話・パソコン）	自動音声応答電話
	http://telemail.jp パソコン・携帯電話各社共通アドレスです。	IP 電話 050-8601-0101
	QRコード ※携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 	(24時間受付) ※通話料金は必要となります。

②その他

- ・ 発送開始日までの請求は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。
- ・ 送料は、お届けする資料に同封されている支払方法に従い支払ってください。
- ・ 随時発送中の表示があるものは、受付から2～3日程度で送付されます。

(1)、(2)の請求方法等についてのお問い合わせは、

テレメールカスタマーセンター（電話 050-8601-0102 9:30～18:00）をお願いします。

8 受験に関する照会先

〒480-1194

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。

(別紙1)

平成30年度 愛知県立芸術大学入学者選抜方法等
 (一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等	個別学力検査等										専門高校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考(欠員の補充の方法等)		
	学部・学科名	実技検査等					2段階選抜					実技検査等							募集人員	
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階に合格のよ者数		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する						
								定員に対する倍率	その他											
美術学部	美術科	日本画専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格		
		油画専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
		彫刻専攻	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
		芸術学専攻	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
	デザイン・工芸科	デザイン専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
		陶磁専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
音楽学部	音楽科	作曲専攻	作曲	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
			音楽学	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格
		声楽専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
	器楽専攻	ピアノ	ピアノ	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
			弦楽器	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5	追加合格	
		管打楽器	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	別紙5		

注：該当する欄には○印、該当しない欄には×印を付しました。

平成30年度 愛知県立芸術大学入学者選抜方法等 (特別入試)

選抜方法等		推薦入試										帰国子女入試・社会人入試			その他の入試	備考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する										推薦入試募集人員	帰国子女	中国引揚者等子女			社会人
		実技検査等															
		個別学力検査を免除し大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査を課する	面接を行う(口述試験を含む)	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他									
学部・学科名																	
美術学部	美術科	日本画専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		油画専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		彫刻専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※○	その他の入試はすべて自己推薦とする	
		芸術学専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	デザイン・工芸科	デザイン専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	※○	その他の入試はすべて自己推薦とする	
		陶磁専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
音楽学部	音楽科	作曲専攻	作曲	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※○	その他の入試はすべて自己推薦とする	
			音楽学	×	○	○	○	○	×	○	若干名	×	×	×	×		
		声楽専攻	×	○	○	×	×	×	×	○	若干名	×	×	×	×		
		器楽専攻	ピアノ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			弦楽器	×	○	○	○	×	×	×	○	若干名	×	×	×	×	
			管打楽器	×	○	○	○	×	×	×	○	若干名	×	×	×	×	

※その他の入試は、自己推薦による入学者選抜で出身学校長の推薦に基づくものではありません。

平成30年度 愛知県立芸術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		特別の選抜 方法等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
美術学部	後期 3月14日 17日 18日	国 数 外	国語 1科目	英、独、仏、中、韓 から1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 物理、化学、生物、地学 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い)	その他	実技検査	追加合格 追加合格
			数 I、数 II、数 A、数 B、数 C、簿・会、情報 から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目		その他	実技検査	
[8.6] 95人	後期 3月12日 17日 18日	地歴・ 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 物理、化学、生物、地学 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い)	その他	実技検査 面接	自己推薦 追加合格	
美術科 彫刻専攻 10人	後期 3月14日 17日 18日	外	英語 地理歴史(日本 史B、世界史Bか ら1科目選択)	その他	実技検査 面接 小論文	追加合格	
				外 地歴	実技検査		
美術科 芸術学専攻 5人	後期 3月12日 17日			その他	実技検査	自己推薦 社会人 追加合格	
デザイン・工芸科 デザイン専攻 35人	後期 3月16日 17日			その他	実技検査	追加合格	
デザイン・工芸科 陶磁専攻 10人	後期 3月17日 18日			その他	実技検査	追加合格	

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意して下さい。

平成30年度 愛知県立芸術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		特別の選抜 方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
音楽学部	後期 3月11日 12日 13日 15日	外国 地理・ 公民 教 理	英、独、仏 から1科目必須 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 教I、教II・教A、教II・教B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎 から2科目(1科目扱い) 【2教科2科目】	その他	実技検査	自己推薦 追加合格
	後期 3月12日 13日 15日			外 その他	外国語(英、独、 仏)から1科目選 実技検査 論述試験 口述試験	
[3.1] 100人	後期 3月12日 13日 15日			その他	実技検査	推薦 追加合格
	後期 3月9日 10日 12日 13日 15日			その他	実技検査	
	後期 3月12日 13日 15日			その他	実技検査	推薦 追加合格
	後期 3月11日 13日 15日			その他	実技検査	

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意して下さい。

(別紙5)

平成30年度 愛知県立芸術大学個別学力検査(専攻別実技試験等)日程

出願期間：平成30年1月22日(月)～平成30年1月31日(水)

学部	学科	専攻 (コース)	実技試験日程		
美術	美術	日本画	後 期	平成30年3月14日(水) 平成30年3月17日(土)・18日(日)	
		油画		平成30年3月12日(月) 平成30年3月17日(土)・18日(日)	
		彫刻	日 程	平成30年3月14日(水) 平成30年3月17日(土)・18日(日)	
		芸術学		平成30年3月12日(月) 平成30年3月17日(土)	
	デザイン・工芸	デザイン	後 期	平成30年3月16日(金)・17日(土)	
		陶磁		平成30年3月17日(土)・18日(日)	
音楽	音楽	作曲	後 期 日 程	平成30年3月11日(日)・12日(月)・13日(火) 平成30年3月15日(木)	
				音楽学	平成30年3月12日(月)・13日(火) 平成30年3月15日(木)
		声乐		平成30年3月12日(月)・13日(火) 平成30年3月15日(木)	
		器楽		ピアノ	平成30年3月9日(金)・10日(土) 平成30年3月12日(月)・13日(火) 平成30年3月15日(木)
				弦楽器	平成30年3月12日(月)・13日(火) 平成30年3月15日(木)
		管打楽器		平成30年3月11日(日) 平成30年3月13日(火) 平成30年3月15日(木)	
合格発表日			平成30年3月21日(水・祝)		

※【予告】平成31年度入試より、美術学部彫刻専攻の入試日程、試験科目、点数配分が変更となります。

詳細は平成30年度一般入試募集要項および本学WEBサイトでご確認ください。

(別紙6)

平成30年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (美術学部自己推薦特別入試)

実施学部・学科名	美術学部：美術科 彫刻専攻、デザイン・工芸科 デザイン専攻			
募集人員	美術学部：美術科 彫刻専攻若干名 美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻10名			
出願資格	<p>彫刻専攻：次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>デザイン専攻：平成30年3月31日現在において<u>22歳以下</u>で、次の(1)と(2)の両方に該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none">① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの <p>※出願資格⑧により出願しようとする者は、平成29年8月25日（金）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p> <p>(2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者</p>			
出願期間	平成29年10月25日（水）～平成29年11月1日（水）最終日午後5時必着			
選抜期日 及び 選抜方法	彫刻専攻	第1次選考		自己アピール資料・書類審査
		第2次選考	平成29年11月25日（土）	小論文・面接
	デザイン専攻	第1次選考		自己アピール資料・書類審査
		第2次選考	平成29年11月25日（土） または 平成29年11月26日（日）	面接
合格発表日	第1次選考合格者発表	平成29年11月16日（木）		
	最終合格者発表	平成29年12月4日（月）		

(別紙7)

平成30年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (社会人特別入試)

実施学部・学科名	美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻		
募集人員	美術学部：デザイン・工芸科 デザイン専攻 若干名		
出願資格	<p>平成30年3月31日現在において23歳以上に達し、社会人の経験(※1)を3年以上有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成30年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(※2)</p> <p>※1 社会人の経験：定時制、通信制及び夜間部以外の学校(大学を含む)の在学期間は、社会人の経験期間に含めません。</p> <p>※2 出願資格(8)により出願しようとする者は、平成29年8月25日(金)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p>		
出願期間	平成29年10月25日(水)～平成29年11月1日(水) 最終日午後5時必着		
選抜期日及び選抜方法	デザイン専攻	第1次選考	出願書類審査
		第2次選考	平成29年11月25日(土) 小論文・面接
合格発表日	第1次選考合格者発表	平成29年11月16日(木)	
	最終合格者発表	平成29年12月4日(月)	

平成30年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (推薦入試)

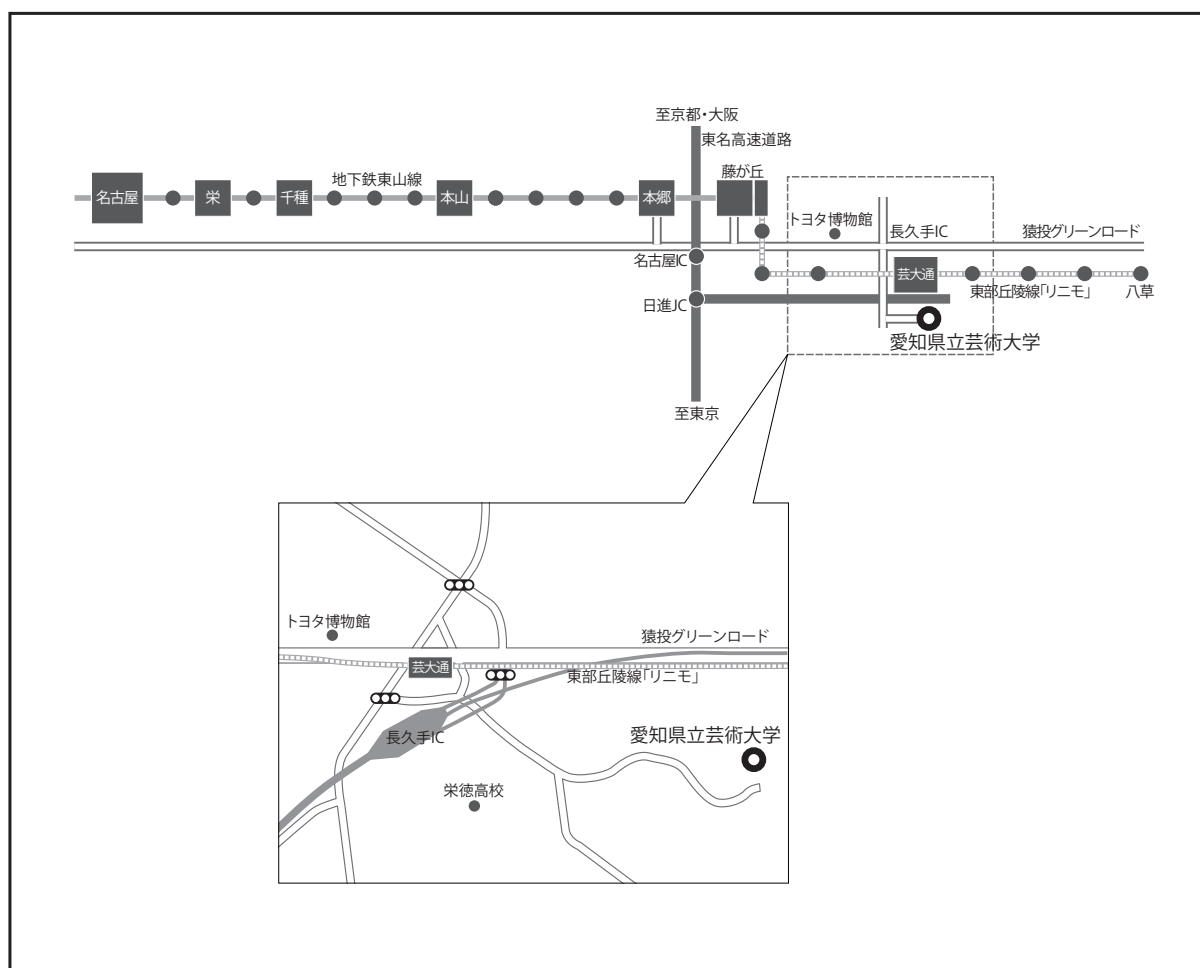
実施学部・学科名	音楽学部：音楽科 作曲専攻(音楽学)、声楽専攻 器楽専攻(弦楽器、管打楽器)				
募集人員	音楽学部：音楽科 作曲専攻(音楽学)、声楽専攻 器楽専攻(弦楽器、管打楽器) 各専攻(コース)若干名				
出願資格	<p>本学に出願できる者は、次の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>③ 上記①②以外の学校を平成30年3月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※出願資格③により出願しようとする者は、平成29年8月25日(金)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。</p> <p>(2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者</p> <p>(3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者 各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻は、それぞれ専攻(コース)につき1名までとします。器楽専攻(弦楽器)においては、ヴァイオリンで1名、それ以外(ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)で1名まで、器楽専攻(管打楽器)においては、木管楽器・金管楽器・打楽器でそれぞれ1名まで推薦できます。</p> <p>(4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者</p>				
出願期間	平成29年10月25日(水)～平成29年11月1日(水) 最終日午後5時必着				
選抜期日 及 び 選抜方法	作曲	音楽学	第1次選考		書類審査(提出小論文を含む)
			第2次選考	平成29年11月25日(土) 11月26日(日)	口述試験・音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む)・音楽の基礎的能力試験
	声楽		第1次選考		書類審査
			第2次選考	平成29年11月25日(土) 11月26日(日)	実技・音楽の基礎的能力試験
	器 楽	弦楽器	第1次選考		書類審査
			第2次選考	平成29年11月25日(土) 11月26日(日)	実技・口述試験・音楽の基礎的能力試験
		管打楽器	第1次選考		書類審査(録音による審査を含む)
			第2次選考	平成29年11月25日(土) 11月26日(日)	実技・口述試験・音楽の基礎的能力試験
合格発表日	第1次選考合格者発表		平成29年11月16日(木)		
	最終合格者発表		平成29年12月4日(月)		

(別紙9)

平成30年度 愛知県立芸術大学特別選抜方法 (音楽学部自己推薦特別入試)

実施学部・学科名	音楽学部：音楽科 作曲専攻(作曲)		
募集人員	音楽学部：音楽科 作曲専攻(作曲) 若干名		
出願資格	平成30年3月31日現在において <u>35歳以下</u> で、次の(1)と(2)の両方に該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号) ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの ※出願資格⑧により出願しようとする者は、平成29年8月25日(金)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者		
出願期間	平成29年10月25日(水)～平成29年11月1日(水) 最終日午後5時必着		
選抜期日 及び 選抜方法	作曲専攻 (作曲)	第1次選考	書類審査(提出作品を含む)
		第2次選考	平成29年11月25日(土) 器楽曲作曲・口述試験
合格発表日	第1次選考合格者発表	平成29年11月16日(木)	
	最終合格者発表	平成29年12月4日(月)	

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

 愛知県立芸術大学



愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試課直通)

入試情報提供専用サイトURL <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>